

# 学会記事

◎第11回理事会(昭.33.4.15)出席者:米田副会長, 東, 中安, 飯吉, 国分, 丸安, 米屋, 高野, 逸見の各理事。議事: 1) 3月中の行事その他報告, 2) 次期理事候補について, 3) 名誉員推挙候補者について, 4) 昭和32年度決算報告作製に対する根本方針について, 5) 委員会委員交代その他(a. 抄録委員松本嘉司君渡弘のため後任に野口 功君を委嘱すること, b. 原子力土木技術委員会委員長福田武雄君は東大生産技研所長を命ぜられ公務のためその責を全うし得ないからとて辞任申出について後任を協議, 国分理事が関係方面の意向を聞き次回で決定のこと), 6) 会誌交換申出承認(河川水温調査会; 中国科学院科学情報研究所; Linda Hall Library, Kansas City, Engineer Research Wing, College of Military Engineering.), 7) 第2回粘土科学討論会開催について共催方依頼について, 8) 会員入退会承認。

## ◎各種委員会

1. 第11回会誌編集委員会(昭.33.4.25)出席者:糸川委員長, 尾崎, 南, 安藤, 三上(代米沢), 伊東(代), 栗栖(代竹内), 粟津, 八十島, 岡崎, 後藤(東北), 大野(代), 奥田(代吉岡)の各委員, 深谷幹事。協議事項: 1) 投稿原稿審査報告, 2) 原稿依頼の件, 3) 委員交代に関する件, 4) 夏季講習会の件, 5) 43巻6号会誌登載原稿を次のとおり予定した。

東島 栄: 干満差による軟弱地盤橋脚の動揺現象について, 原田千三: 地やまの人工凍結法, 市浦 繁: 有峰ダム工事計画について, 野口 功: フランスにおけるコンクリートの施工に関する2,3の点について。

2. 第11回会誌編集小委員会(昭.33.4.7)出席者:糸川委員長, 小林, 尾形, 岡崎の各委員, 深谷幹事。議事: 43巻第5号会誌編集につき最終審議を行った。

3. 第11回会誌抄録委員会(昭.33.4.3)出席者:八十島委員長, 岩間, 垣中, 小池, 高秀, 佐藤(代中村), 土屋(代金安), 野口, 矢島(代西沢), 湯浅, 渡部の各委員, 高橋幹事。議事: 1) 43巻5号登載抄録につき審議2) 任期満了委員の後任について。

4. 第19回耐震工学委員会(昭.33.4.3)出席者:沼田委員長, 岡本, 畠山, 田原, 比田, 友永(代)の各委員, 久保幹事。報告および協議事項: 1) 2nd WCEE 準備状況報告(a. 会場および他の国際会議との関連から1960年7月5日~9日に開催する予定, b. アメリカから2nd WCEEを日本で開催することに賛成する旨手紙が来た, c. 講習数は第1回と同じく約40を予定する。日本の論文は総合報告的なものとし, 個人論文は別冊論文集(英文)として出席者に配付する計画, 2) WCEEに提出する論文は予備2編を加えて6編用意すること(ダム, 港湾, 築堤および切取, 橋梁, 水道, 土木構造物と設計震

度), 3) 第2回研究発表会を9月9,10両日に開催のこと, 4) 耐震工学研究の連絡をはかり, 相互の研究を進展させる目的で小委員会を設けるため打合会を開催すること, 5) 国鉄構造物設計事務所小寺君の3スパン連続PC鉄道橋について耐震設計を討議した。

## 5. 第13回年次学術講演会講演プログラム編成打合会

(昭.33.4.4)出席者:米屋, 友永, 山田, 後藤, 野田, 丸安の各委員。編成: 出題数195件, 部門を整理の結果次のとおりの部門として会場を決めた。講演時間は15分とした。

応用力学	22	土質および基礎工学	44
水理および水文学	25	測 量	4
構架および構造学	31	コンクリート	14
道 路	19	鉄 道	11
都 市 計 画	3	湾 港	3
河川および砂防	6	発電水力およびダム	5
衛生工学	8		

教室	24日(土)	25日(日)
112 200人	—	都市3,衛生8,応力4 応力18
113 250人	9.30~11.30 総 会 14.00~17.40 コンクリート⑬	—
114 200人	—	道路 14 道路5,鉄道6
218 200人	—	橋梁 14 橋梁 17
219 200人	—	土質 14 土質 17
220 200人	14.00~17.25 土 質⑭	発電5,水理8
	14.00~17.25 測量4,港湾3 河川6	水理 17

## 6. 関東地区常議員半数改選有志打合会(昭.33.4.24)

出席者:本間, 尾之内, 奥田(代大塚), 川口(代西村), 逸見, 森の諸氏。議事: 関東地区常議員19名中約半数の10名を改選するについて候補者を推薦することとした。

## 7. 第3回フライアッシュ小委員会(昭.33.4.18)

出席者: 国分委員長, 三浦(代杉木), 平野, 野瀬(代太斉), 関, 河原(代村野), 高野(代森), 左右田, 高橋, 渡部(代浜), 本間(代角田), 光岡, 久木田の各委員。議事: 昨年12月各担当者に配布したフライアッシュおよびセメントにより試験された結果をもちよつて中間報告された。なお, 試験を継続し5月中旬までに圧縮強度比, 曲げ強度比の材令91日の試験結果の報告をもちよることとなつた。

## ◎日本学術会議その他関係

1. JSC 第26会総会を4月16日~18日に開催した。

2. 第8回応力連合講演会職員打合会(昭.33.4.8)出席者:造船(山本), 機械(田中), 建築(城, 藤田), 応物(加部), 土木(捧箸, 堀内), 物理(望月, 山里)の各学協会職員, 議事: 3月18日第1回運営委員会決定事項その他について協議した。

3. 文部省科学研究費配分打合会(昭.33.4.11)出席者:平井, 田中両委員, 文部省広瀬事務官, 東大(八十島), 生研(岡本), 早大(佐島), 日大(当山), 金沢大

(小野), 京大(村山), 阪大(安宅), 神戸大(田中), 九大(村上), 広島大(庄司), 北大(真井), 東北大(河上)。議事: 平井委員から本年度科学研究費の状況を説明, 田中委員から細目説明ののち, 平井委員から総合研究および試験研究の配分案を説明し, 各個研究配分について従来の配分方法の欠点を除く意味で, ウェイトの改訂と地区改訂案を提示したが, 種々協議の結果, 今回は従来どおりの配分方法によることとし, 各地区別に協議の上配分を決定した。

◎関係学協会の動き

1. 日本工学会では4月28日定時総会を開催した。
2. 工学関係学協会事務局連合運動会(昭.33.4.20, 外濠公園において)参加学協会: 応用物理学会, 造船協会, 土木学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本建築学会, 日本航空学会, 日本物理学会。以上各学協会職員の懇親のため開催したところ, 好天に恵まれ, 職員家族約300名の参加者を得て盛況裡に終始した。

学会備付図書(国内)一覽(25)

I. 昭. 33. 4. 間に寄贈を受けた分

○昭31年度文部省研究費研究報告集録(昭, 32. 4, 未現在)一工学編一〔応物・機械・造船・電気〕(日本学術振興会) ○同(同)一同一〔土木・建築〕(同)  
○同(同)一同一〔鉱山・金属〕(同) ○神奈川県住宅建設10年の歩み(同県) ○近藤泰夫先生退官記念論文集(近藤先生退官記念事業会) ○最近の海外土木技術 昭.33. 3. (土木学会関西支部) ○Proceedings of the Sixth Japan National Congress for Applied Mechanics 1956, Japan National Committee for Theoretical and Applied Mechanics (日本学術会議)  
○同 Seventh 同 1957, 同(同) ○昭31年度材料

試験報告(近畿地建企画部調査課材料試験室) ○昭32年度同 第7巻第1号(上半期)(同) ○第24回土木工事施工研究会記録 基礎の設計・施工について 昭.31. 11. (国鉄施設局) ○野原彝夫: 大発破に関する昔話 ○関門隧道 1958, 3. 9 (建設省) ○日本原子力発電KK訪英調査団報告書 昭.33.4. ○日本気象学会75年史 ○同会創立75周年記念論文集 和文編 ○気象集誌 75周年記念号(同会創立75周年記念論文集 欧文編) ○日本機械学会60年史

II. 昭. 33. 4. 間に購入した分 なし

付記 学会備付図書(国内)一覽(24)は43-4・p. 8に掲載

筑豊電鉄 筑豊中間一木屋瀬間 開通

黒崎から筑豊炭田を経由して福岡に至る筑豊電鉄は, 昭和31年3月貞元一筑豊中間7300m 竣功してから, 引続き工事中であつたが, 昭和33年4月29日筑豊中間一木屋瀬間4800m が開通した。木屋瀬は遠賀川を狭んで直方市の対岸にあたる。引続いて直方, 飯塚までの工事を実施する予定である。

会 員 現 在 数 (昭.33.4.30 現在)

名誉員	賛助員	特1級A	B	C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	合計	増加
22	30	16	11	71	115	103	8536	4468	838	14210	129

昭和33年4月分入退会報告(昭.33.4.1~4.30)

1. 入 会 195名(特1級C 1, 特2級 4, 特3 12, 正 57, 准 72, 学生 49)
2. 退 会 66名(特2級 1, 正 35, 准 30)
3. 転 格 1263 (特1級Cより特1級Aへ 1, 准より正へ 1186, 学生より准へ 76)

正員	門野重九郎君	小田原市板橋916	昭和33年4月24日逝去	享年90才
正員	久世秀明君	建, 関東地建五十里工事事務所	昭和33年1月12日逝去	享年51才
正員	安藤毅君	建, 九州地建延岡工事事務所	昭和33年3月8日逝去	享年42才
正員	福田雄二君	札幌市南9条西14丁目	昭和32年8月4日逝去	享年38才

昭和33年5月10日印刷

印刷者 大沼正吉  
編集兼発行者 中川一美

定価 100円

昭和33年5月15日発行

印刷所 株式会社 技報堂  
発行所 社団法人 土木学会  
振替 東京 16828番

土木学会誌 第43巻 第5号

東京都港区赤坂溜池5番地  
東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園内口)  
電話(35) 5130・5138・5139番